※この冊子は広報えべつ7月号です。60年前の市政だよりを再現しています。なお、紙質は当時と異なっています。

広報えべつ⑦ 江別の今を伝える情報誌 江別市制60

江別☆市政だより

発行日　7月1日
発行所
北海道江別市役所

印刷所
江別印刷業協同組合

記念すべき七月一日

市制施行六十周年なる！

―江別市制六十周年記念特集―

昭和29年7月2日の中央通り

平成二十六年七月一日、この日江別市は市制施行から六〇周年を迎える。

その記念号となる本誌表紙は、当時の市政だよりを再現した、「広報えべつ」とした。

今月の特集では、「えべつ今昔物語」と題して6ページにわたって、江別の懐かしい風景を写真とともに紹介する。

先人たちの苦労で築きあげてきた江別。歴史を振り返り、理解を深めることで、今年からスタートしている新総合計画に基づき、市民協働のまちづくりを進めていきたい。

○市政だより第一号の記事を原文のまま掲載しています。

三万四千人の住民（昭和29年当時）が熱意を込めて申請中であつた江別町の市制施行は、さる昭和二十九年六月二十五日に召集された定例道議会において正式決定をみました。

なお、昭和二十九年七月一日から江別とともに市制を実施した道内の町村は赤平町が江別同様に単独市制を、上川郡の士別町、上士別村、多寄村、温根別村の四町村は合併して士別市として、紋別郡紋別町、渚滑村、上渚滑村の三町村も合併市制で紋別市としてそれぞれ発足しました。

（※地名などは昭和29年当時の表記）

江別市制の始まり

上記の記事でも取り上げたが、昭和二十九年七月一日に、江別は市制が施行され、江別市が生まれた。

初代市長は古田島薫平市長。現在の江別小学校の正面にあった、旧市庁舎2階で開庁式が行われ、古田島市長は今後の抱負を熱く語った（写真右）。

そして市制開始から一ヶ月後の八月一日、江別第一中学校を会場として、来賓・招待客約九〇〇名が出席するなか、盛大に市制施行記念式典が行われた。左上の写真は式典前に行われたパレードの様子。

左下の写真は式典の横断幕と、会場となった江別第一中学校の扇型校舎が写っている。

江別市の
人口　120,314
男　57,255
女　63,059
世帯数　55,079
平成26年6月1日
住民登録人口

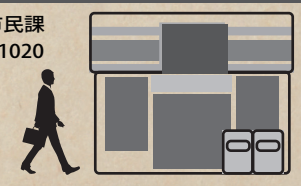
欲しい情報が見つかる！

お知らせ欄を**リニューアル**！
情報を整理して、皆さんが知りたい情報をより見つけやすくしました。

●子育て情報ページ　……P18-19
●まちのイベント・スポーツ情報…P20-23
●市からのお知らせ　……P24-27

コンビニで住民票などの交付ができます

詳細 市民課
☎ 381-1020



※また交付には、利用登録をした住民基本台帳カードが必要です。また店舗によっては証明書交付サービスを行っていない店舗もあります。あらかじめご確認ください。

目　次

2　特集「えべつ今昔物語」
8　大麻団地50年（2）
12　第25回やきもの市
16　江別の夏祭り
18　お知らせ～リニューアル～
28　こんにちは
　～N43赤煉瓦塾～

江別市制60周年

えべつ今昔物語

～今、振り返るえべつの歴史～

○昭和30年代の江別の懐かしいまちなみ。

○江別小学校で遊ぶ子どもたち。

○昭和30年頃、れんがに囲まれ手伝いの間に読書。

○商店での火災、消火活動中。

○紙芝居の前に集まる子どもたち。大人気の娯楽だ。

※写真は、市で撮影した写真と、市民の方の協力で提供されたものを掲載しています。

○市制施行後初の国勢調査に横断幕が渡る。

昭和30年代の江別市

当時の江別は、江別駅前を中心に商店街が軒を連ね、活気あるまちなみだった。オート三輪が駆け、賑やかな様子が見て取れる。娯楽では、映画や紙芝居が人気で、劇場や紙芝居の前に、子どもたちが詰めかけていた。

市制が始まった昭和29年当時、まだ江別には上水道がなかった。井戸水をつるべでくみ上げるなどの方法で、家に水を運んで生活していた。

そんな中、昭和32年11月に初の上水道が通水した。蛇口をひねれば、家に居ながら水を得られることは、市制施行による、大きな生活変化のひとつだった。

○昭和32年11月、初めての通水に笑顔がこぼれる。

江別市のまちなみ

昭和四十年代

昭和二十八年頃

江別駅前の移り変わり

上の写真は、昭和28年頃の江別駅の写真。駅舎は木造建築で、バスや人々の服装も時代を感じるものである。

左上の写真は、昭和45年8月、江別駅前の商店街で開催された、買い物公園の様子。商店街の活性化のために、江別商工会議所の音頭で開催された歩行者天国。江別の中央通りに始まり、野幌、大麻の商店街でも歩行者天国を続けて開催し、当時の商店街は、にぎわいをみせていた。

左下の写真は昭和40年代の江別駅前通りの写真。市内に建てられていた、火力発電所の煙突が見える。

昭和四十年代

野幌の街の移り変わり

野幌のまちなみの移り変わりにも、特徴的な写真が残っている。

左上の写真は昭和四十年代に国道12号にかけられた歩道橋の写真。今も変わらない形で歩道橋は残る。

今と違っているのは、周囲のまちなみ。昭和40年当時は大型スーパーなどの大きな建物はなかった。ところが、昭和53年に大型スーパーが進出すると、野幌のまちなみは大きく変わり始める、国道の沿線に、飲食街や商店が立ち並び、活気あるまちなみへと移り変わっていった。

平成三年頃

平成二十六年現在

江別市の生活

雪の生活　今と昔

北海道の生活と切っても切り離せない、雪との関わりを紹介したい。

左の写真は昭和30年初頭の写真。馬そりを利用して移動している。当時、車があまり普及しておらず、農家は1頭馬を飼っていた。重機などはなく、大雪が降ったときは、道がふさがったままとなり、馬そりが唯一の交通手段だった。

その後、昭和34年ごろになると、重機やトラックを利用して除雪がはじまる。左上の写真は商店街除雪の様子。市から除雪用のトラックを借り、人の手で雪を積みこんでいる。同年、1月に市の直轄事業として除雪が始まり、住民の協力のもと、全市をあげて除雪対策が行われた。

年月とともに、除雪の手段が改良され、現在の江別の交通を支えている。

○昭和30年頃、馬そりで物を運んでいる様子。

○昭和34年頃、商店街での除雪作業。

○昭和36年頃、重機を使った除雪作業。

江別のヤツメ漁

江別の特徴的なヤツメウナギ漁に触れたい。

江別の味覚として親しまれている、ヤツメウナギ。その漁の始まりは、江別市史などによると、明治34年頃と推測されている。江別市制以前の町制時代から、貴重なタンパク源として親しまれた。

また昭和32年の市制だよりによると、目の疲れをとる薬魚としても重宝されており、新潟、富山方面に売られていたという。氷詰めで保存し、生きたままのものは、東京などで、かば焼きにした。今でも懐かしい味わいを求めるファンも多いが、環境の変化などにより、ヤツメウナギは希少な資源となっている。

○昭和32年頃、ヤツメウナギ漁の仕掛けを引き上げる漁師。

馬車でごみ収集

左の写真は、昭和30年初頭、市制施行直後のごみ収集の様子。当時、ごみ収集の主力として馬車を使っていた。風でごみが飛ばされないように網をかけ、埋立地まで運んでいた。しかし、風が強い江別では、ごみが飛ばされ、散乱するなどの苦労もあった。

ごみ収集に大きな変化が出てきたのは、昭和36年。風などの対応策として、馬車でのごみ収集から、ダンプ車での収集に切り替えを行った。

その後も人口の増加に比例し、ごみの排出量も増えたことから、リサイクルを推進することになった。

昭和62年8月に、リサイクルバンクを開設、家具などの無償提供の仕組みを確立した。平成4年ごろには、自治会やＰＴＡを中心にリサイクル意識も高まり、不用品の資源化などが、現在の生活に根付いていった。

さらなるごみの減量化、負担の公平化のため、処分費の有料化は避けられず、平成16年10月に家庭ごみ処分が有料化され、現在に至る。

○昭和30年頃、馬車でのごみ収集。

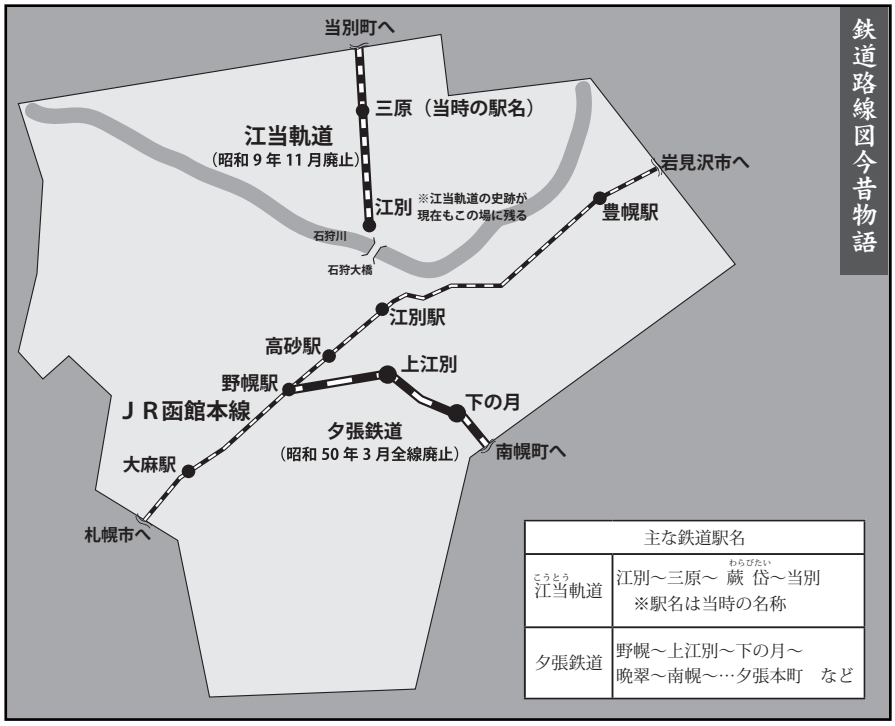
○平成4年、フリーマーケットにて。

○昭和38年頃、ごみ収集車でのごみ収集。

江別市の交通

江別を支えた鉄道

江別市は、線路に沿って東西に延びたまちなみが特徴。現在は、ＪＲ函館本線が江別の大動脈となって、交通を支えているが、その昔には他にも鉄道があった。懐かしの鉄道を紹介する。



主な鉄道駅名	
江当軌道	江別～三原～蕨岱～当別 ※駅名は当時の名称
夕張鉄道	野幌～上江別～下の月～ 晩翠～南幌～…夕張本町　など

市制が始まるさらに前の年代、大正15年1月に当別村で江当軌道の創立総会が開催された。この軌道（小型の鉄道を指す）は当別と江別とを結ぶ鉄道で、総会から3年近くをかけて竣工し、営業を開始した。客車3輌に26名の客席を設け、大きさは現在のマイクロバスと普通のバスの中間程度。運行は、冬季を除き1日4往復していた。

江別～当別間は、当時悪路で、当別の農産物を迅速に大量輸送する目的で設置された。この地域の経済活動、日常生活の両面で活躍するが、昭和9年の11月に札沼線の開通を節目に廃業となる。

この軌道の史跡は今も江別市街から江北地区に橋を渡った、石狩大橋のたもとに残っている。また、美原30線の「軌道橋」という名前にも残る。

江別の発展を支えた路線をもう一つ、昭和5年11月3日に江別での営業を開始した夕張鉄道である。駅は江別でなく、石炭の貯蔵場所が確保できる野幌に設置された。夕張鉄道の江別開業の日、野幌駅前では盛大に祝賀会を開き鉄道の開通を喜んだ。

夕張鉄道により、物流の利便性がはるかに向上した。石炭の輸送費が下がり、石炭価格が安くなった。農産物の輸送、沿線住民の移動手段としても役立ち、半世紀もの間、江別の生活と産業を支えた。

しかし、石炭の需要減と自家用車の普及に伴い、夕張鉄道も徐々に活気を失い、昭和49年4月、旅客輸送が廃止、翌年昭和50年3月には貨物輸送を含め全線廃止となった。鉄道が撤去された土地は、昭和58年に現在の「きらら街道」として道路に生まれ変わる。「きらら街道」の北海鋼機前、街道に沿って、夕張鉄道時代の鉄道信号機が今も残る。

最後に取り上げるのは、ＪＲ北海道の野幌駅。左端の写真は、昭和40年ごろの野幌駅。右に夕張鉄道、左にＪＲが停車している貴重な写真。

現在、江別の顔づくり事業で、野幌駅周辺は生まれ変わろうとしている。現在の線路は高架になり、南北の往来は格段と便利になった。

○昭和30年、江別を駆ける夕張鉄道のディーゼル機関車。

○平成26年、きらら街道に残る鉄道信号機。

○昭和40年、野幌駅３番ホームに夕張鉄道が停車している。

○平成25年、線路高架後の野幌駅に電車が停車している。

江別市の窯業

れんが産業の歴史

れんが産業の始まり

江別の代表的な産業のひとつに、れんががある。

江別のれんが製造が始まった場所は江別太、現在の東光町に建設されたれんが工場だったとの記録が残されている。現在の覚良寺（東光町）かられんがが多数掘り出され、その中に「江別太煉化石工場製」と刻印されていたことから、工場があったとされる。残された文献などから、その工場があったのは、明治24年ごろと推測されている。

○昭和30年頃のれんが工場の内部。

○昭和30年後半のれんが工場内部での土管づくりの様子。

れんが産業の転機

れんが産業の転機は、明治20年代後半から30年代にかけて、野幌にれんが工場が設立されたことにある。原料となる粘土が豊富で、燃料の石炭も、夕張鉄道を利用して効率よく供給できる環境があった。そのため野幌に複数の工場が建ち、競い合いながられんが産業は発展していった。

昭和30年代、江別市制が始まりを迎えるころには、野幌駅の周辺には、10か所以上の粘土窯業工場が、高い煙突から煙を上げていた。

このころ、主に製造されていたのは、赤れんが、普通に見かける四角いれんがで、建材として利用された。

30年代後半になると、セメントや、タイルなどの新建材が普及する。耐久性が高く、安価な製品がれんがに立ち替わっていった。昭和40年代には、れんがの需要は年々減少していき、工場数も昭和42年には5工場まで減った。しかし、昭和50年代には、れんがの温かみが見直され、市内には現在もれんがのぬくもりある建物が多く残っている。

野幌で長年培ってきた、窯業技術は、江別市の陶芸文化の開花へつながる。道立工業試験場野幌分場での陶芸研修制度もあり、昭和40年代から50年代にかけて、市内で続々と開窯（かいよう）され、野幌公民館でも屯田窯を開窯する。公民館で陶芸サークルの活動が活発になり、江別に陶芸文化が根付き始める。市民層に伝わった陶芸熱は、平成2年に第一回となるやきもの市を開催する力となった。やきもの市は、道内有数のイベントとなり、今年25回目を迎える。陶芸への熱意は今も燃え続けている。

平成6年には、セラミックアートセンターが完成。より身近に本格的なやきものを体験でき、子どもから大人まで陶芸を楽しむことができるようになった。

○昭和38年頃、屋外のれんが乾燥。

○昭和61年、れんが工場の煙突が空へのびる。

○平成25年セラミックアートセンターで作品づくり。

○昭和50年代、ふれあい陶芸教室での親子。

江別のあの日

江別のあの日、日本全国はどのようなことがあったのか、年表とともに振り返る。

写真とともに、江別市制の60年間を少しずつ紹介してきた。記事では書ききれないほどのたくさんの出来事が、江別市にはある。紹介しきれなかった歴史を60年の時間の流れとともに伝えたい。

江別である出来事が起きたとき、日本全国では何があったかを表にしてお伝えする。

年代	江別のあの日	日本全国の出来事
昭和29年（1954年）	江別市政の施行開始。第1回市民運動会・文化祭を開催。	第1回全日本自動車ショー開催。
昭和39年（1964年）	大麻団地が起工、12月に大麻団地に第一期の入居開始。	第18回オリンピック・東京大会開催。東海道新幹線開業。
昭和41年（1966年）	市庁舎が高砂町に移転。国鉄大麻駅開業。	日本の人口1億人を突破。ビートルズが来日。
昭和43年（1968年）	江別市旗制定・江別市民憲章告示。市役所大麻出張所の開設。	川端康成氏ノーベル文学賞受賞。郵便番号制度実施
昭和47年（1972年）	青年センター温水プール開業。	第11回冬季オリンピック・札幌大会の開催。上野動物園でパンダ初公開。
昭和52年（1977年）	グレシャム市と姉妹都市の盟約調印。	王貞治氏756本のホームラン世界記録を達成。
昭和53年（1978年）	土佐市と友好都市盟約調印。	新東京国際空港（成田空港）開港。
昭和57年（1982年）	第1回スノーフェスティバル開催。水道庁舎開設。	石狩湾新港開港。テレホンカード使用開始。
平成2年（1990年）	第1回江別やきもの市開催。	道央自動車道、札幌～旭川間全線開通。
平成9年（1997年）	えぽあホールがオープン。	消費税率が3％から5％へ引き上げ。
平成16年（2004年）	江別市制50周年を迎える。家庭ごみの有料化開始。	駒澤大学附属苫小牧高等学校が高校野球大会優勝。

これからの江別

これまで江別市は、経済成長や人口増加を前提にしたまちづくりに取り組んできた。しかし、一段と進む少子高齢化の中、江別市の人口は、平成17年をピークに減少している。

将来人口推計では、10年後の平成35年の人口は、平成22年の人口より約9千人減少し、約11万5千人になると予想されている。特に、これからの江別市を担う15歳未満の年少人口や15歳から64歳までの生産年齢人口は大きく減少する一方で、65歳以上の高齢者人口は、平成35年には35.5％となり、約3人に1人は高齢者になると予想される。

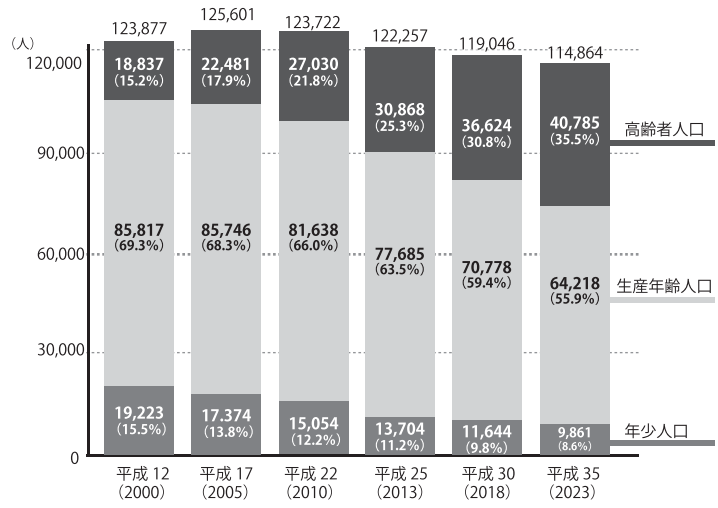
人口減少・少子高齢化が進む中、これからの江別市をどのようなまちにしていくか。10年後のめざすまちの姿とそのまちの姿を実現するための基本方針を示したのが「えべつ未来づくりビジョン（第6次江別市総合計画）」である。

「えべつ未来づくりビジョン」では「協働」と「戦略性」をキーワードに、めざす10年後の将来都市像を「みんなでつくる未来のまち　えべつ」と定めた。

これからの人口減少時代にあっても、江別市が持つ優位性を最大限に活かした戦略的な取組を展開することで、江別市に「いつまでも住み続けたい、ぜひ住んでみたい」と思えるような魅力あるまちづくりをめざすこと、そしてそのために、江別市に関わるすべての人や団体が協力して、みんなで未来に向かって、まちづくりを進めていくことを目指している。

これからの江別を、みんなで一緒に作っていきたい。

江別市の将来人口推計



詳しい内容は、各公共施設に設置した、「えべつ未来づくりビジョン」をご覧ください。江別市ホームページからもご覧になれます。

江別の今と向き合う

大麻団地50年

「進む高齢化と再生への道」

(2)

1. 大麻団地の集合住宅。50年を経た建物は老朽化が進む。2. 道警アパートを解体した後に建った大麻西町の新興住宅。好立地のためか2年ほどで多くの入居者が決まった。3. 大麻団地の特徴である袋小路（大麻中央公園付近）。4. 人通りが少なくなる商店街。

急増する道央圏の人口の受け皿として造成された道内初のニュータウン大麻団地ですが、現在では高齢化と建物の老朽化が進んでいます。それに伴い、地域のにぎわいの消失など市内の他の地区でも抱える問題が出てきています。

一方で、平成21年に策定した「大麻団地まちづくり指針」に基づき、市と市民、大学などが連携して、住みよい大麻団地まちづくりへの取り組みが進められています。

高齢化と住環境

入居した世帯が一斉に高齢化しているのが大麻団地の特徴です。年数の経過とともに大麻団地の高齢化率は30％（平成22年国勢調査）に達し、住宅も50年の月日を経て老朽化が進みます。結婚や就職で団地を出る人が多く、独居老人や空き家の増加、自治会活動、商店の担い手不足などがにぎわいの低下につながっています。

また、団地のバリアフリー化などの整備は進んでおらず、住居者の実態と住環境との乖離が起きています。医療・福祉施設の増設なども急務の課題です。

若い力や産学官民をあげた取り組みに再生の光

多くの課題解決に向け、大麻団地の持つ優れた特徴を生かし、再活性化の取り組みが行われています。

●大麻地区の立地の優位性

ＪＲ快速で札幌駅へ12分程度、野幌森林公園や大学、道立図書館などの文教施設に近く、住宅地として大麻地区は好環境と言えます。景観も美しく、閑静な住宅街であるため、再開発などで売り出された大麻西町周辺はすぐに買い手が見つかるなど、立地の優位性がうかがえます。

●学生の存在

大麻地区には市内の３大学

《さまざまな課題》

○空き家／空き家率は３％ほどで（国４％、北海道４％）で必ずしも深刻とは言えませんが、落雪危険家屋、害虫や雑草などが茂る原因にもなり、防犯・防災面でも見過ごせない問題です。

○商店街／団地内には東から順に大麻東町、大麻銀座、大麻中町、大麻扇町の主な商店街が４つありますが、店舗の老朽化や担い手不足、大型店の進出などにより、にぎわいをなくしつつあります。商店街の衰退は、地域活力の低下だけでなく、高齢者が歩いて買い物に行ける場所がなくなるという面でも問題です。

○除雪／年に１度、自治会排雪が入りますが、高齢化に伴い除雪の困難を嘆く住民は多くなっています。

また、大麻団地内は小路や袋小路（道路の奥が行き止まり）が多く、除排雪に影響が出ている部分があります。

当初、袋小路は子どもたちの通学などを考え、車が通り抜けできないようにと考え造成されました。

今夏も節電に取り組もう！

北海道電力による今夏（7～9月）の電力需給予想では、供給余力は44万kWh（供給予備率9.2%）で、安定供給に必要な予備率3%を上回る見通しですが、市では引き続き節電に取り組みます。電力需要をできるだけ少なくしていくことはリスクの低減につながります。

家庭においても、日頃からの小さな取り組みの積み重ねが大事です。不要な照明や見ていないテレビはこまめに消す、電気ポットや炊飯ジャーの長時間保温をやめるなどは節電効果があります。

● 節電アイデア ●

一昨年、道で節電アイデアを募集したところ、たくさんのアイデアが寄せられました。一例をご紹介します。

★扇風機編／扇風機の前に凍らせた2ℓのペットボトルを置きました。冷えた風に当たって暑さをしのぎ、のどが渇けば溶けた水を飲み、ダブルでエコに過ごせました。

その他のアイデアは北海道「ほっかいどう・省エネ3Sキャンペーン」のホームページで紹介されていますのでご覧ください。

● 市の節電 ●

市では昨夏、平成22年度比マイナス11%という節電目標を掲げ、結果的に目標を上回る12%の節電を達成しました。

今夏も節電目標を昨夏と同じマイナス11%として、7月1日～9月30日の間、集中的に節電の取り組みを進めます。

取り組み内容はこれまでと同じく照明の間引きやこまめな消灯、OA機器の省電力設定などが中心です。また、自家発電設備がある施設では、それらの稼働を増やしていくことも検討します。

詳細 環境課環境政策担当☎381-1395

はじめよう！エコな生活

● わが家のエコガイド配布中！

節電のポイントのほか、エコクッキング、エコドライブ、生ごみの堆肥化など、家庭でできるエコライフ実践術を分かりやすく紹介しています。

配布場所／環境事務所、本庁舎1階エコ商品コーナー、公民館などの公共施設。ご希望の方には郵送します。

● エコドライブを心がけよう

環境とお財布にやさしいエコドライブを始めましょう。タイヤ空気圧の点検、アイドリングストップのほか、発進時に緩やかにアクセルを踏むこと、減速時は早めにアクセルを離すこと、不要な荷物をおろすことなどを実行し、CO_2排出量を抑えましょう。

詳細 環境課☎381-1019

大麻を見つめて

大麻扇町商店街の皆さん

大麻団地内の商店街の中でも、商店街の活性化に取り組み、少しずつにぎわいを取り戻している扇町商店街の皆さんにお話をお聞きしました。

昔と比べると扇町商店街も寂しくなったそう。近くのスーパーが撤退してからは、人通りも少なくなって、営業が続かず空く店舗もありました。しかし新しい利用者が入り、現在の空き店舗は1軒だけです。

「商店街のみんなで、盛大なお祭りを開催したり、協力し合ってさまざまな取り組みをしたりと精力的に活動していることが活性化の秘訣では。」と大麻第三住区自治連合会の松本光（ひかる）会長（76歳）。空き店舗を利用した放課後児童センターや学習塾などでは、夕方になると近くの大麻西小学校からやってくる子どもたちの声であふれます。

「近くに新興住宅もできたので、これから若い人が増えるのではと期待しています。また新しい人が来て、住み変わっていくんですね。」と商店街の皆さんは明るく笑います。

が集中し、若い力が豊富な場所でもあります。地域の夏祭りや除雪の手伝いなど、学生のボランティアなどによる協力は、大麻地区にとって欠かせない活力となっています。

●再生に向けたプロジェクト

大麻団地周辺の地域力の活性化を目指し、平成21年には商工団体、大学、自治会および市などで作成した「大麻団地まちづくり指針」を策定。重点課題を整理し、活性化に向けた取り組みを進めており、若い世代の入居や学生がまちづくりに参加するなど少しずつ努力が実り始めています。

若い力や経験豊富な住民の力を活かし、産学官民をあげた取り組みで、次のステージへ向けた再生の光が見えてきます。

＊次回は、大麻団地再生へのさまざまな取り組みを紹介します。

詳細 市役所大麻出張所☎382-4855

働きたい・いつか働きたい**女性**を応援！

いますぐWORK！　そのうちWORK！

主催　江別市
共催　江別市男女共同参画推進協議会

はたらく キモチ応援フェア

入場無料！
飛込参加もOK！
男性も歓迎♪

日時●7月23日(水)10時～15時
会場●市民会館 小ホール

働きたい・いつか働きたい女性を応援します！
今はまだ働くことを考えていない方も楽しめる就職支援のイベントです。お友達もお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

●市内企業の相談ブース
市内企業が相談ブースを設け、職場の雰囲気や就職に関するさまざまな疑問・質問にお答えします。

参加予定企業
- ○アクサ生命保険株式会社
- ○オシキリ食品株式会社
- ○株式会社菊水
- ○株式会社ペイロール
- ○日本ATMヒューマン・ソリューション株式会社
- ○有限会社ビューティギャルソン

●市内女性起業家による体験型出展ブース
無料で、就活に役立つメイクレッスンやネイル、カラー診断、マッサージ体験ができます。＊予約優先

●パソコン操作体験
スキルチェックができる体験ブース。初めての方もブランクがある方も、気軽に自分のスキルを確認してみましょう。

●子育て・保育相談
働くことで気になる子どもの預け先。どんな場所やサービスを使うことができるのか相談できます。

●託児コーナー ＊予約優先
さまざまなブースでじっくり相談や体験をする場合も託児スタッフがいるので安心です。無料（人数制限あり）。

●特産品の販売 など

●パネルディスカッション（11時～12時）
大好きなコーディネートを仕事にし、出産後も活動を続ける黒田さんに、ビジネスへの思い、成功プロセスや苦労、楽しさについてお話をうかがうほか、白鳥さんには、仕事と子育て両立の秘訣である時間の使い方や職場環境、周りへの配慮など自分の経験に重ねた話をうかがいます。
※終了後にワークショップを開催。

パネリスト1 黒田 有希子さん
6歳の男の子と3歳の女の子のママ。東京のスタイリスト事務所に所属したのち、独立。北海道に「服育」「服塾」をスタートさせる。

パネリスト2 白鳥 陽子さん
4年前にゼニバコスタイルカフェを開業。2児の母であり、「子育てに無理のないように」と始めたカフェは多くの方に支持を受ける。

●参加申込●
運営受託者㈱インサイトの
専用フォームから申し込みを
QRコードまたは下記URLからアクセス！
http://sapporo.couleur-mama.net/ebetsu
クルールさっぽろ　検索

詳細 政策推進課　☎381-1033　FAX381-1071
Email=danjo@city.ebetsu.lg.jp

市では今年度、新たな江別市男女共同参画基本計画を策定しました。「働く女性のための環境整備」を重点項目の一つとし、働く女性の課題を把握し、女性が働く環境の総合的な対策について取り組みを進めていきます。

雇用保険の制度が改正されました

◆育児休業給付金の支給率が引き上げられました
平成26年4月1日以降に開始する育児休業から、育児休業の初日～180日目の給付率が67%（従来は50%）に引き上げられました。
※育児休業給付金の支給を受けるには一定の要件があります。

◆就業促進定着手当を創設
雇用保険の再就職手当の支給を受けた方で、再就職先に6か月以上雇用され、再就職先での6か月間の賃金が離職前の賃金よりも低い場合に、低下した賃金の6か月分（上限額があります。）を支給する制度です。
※平成26年4月1日以降に再就職することなど一定の要件があります。

詳細 ハローワーク札幌東☎803-0110またはハローワーク江別☎382-2377

子どもの車内閉じ込めに注意！

わずかな時間でも、車内に幼い子どもを残すことは絶対にやめましょう。車内が高温になり大変危険です。

閉じ込め防止のポイント
- ●ドアの施錠はキーを手に持ち確実に
- ●トランク内のキー置き忘れに注意
- ●車のキーは子どもに渡さない

消防署では、窓などを壊して救出します。緊急性の無い場合は業者対応をお勧めします。

詳細 消防署消防課救助係 ☎382-5479

新市町村振興宝くじ
サマージャンボ宝くじ

発売期間
7月4日(金)～25日(金)

抽せん日
8月5日(火)

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

平成２６年度 第２回 江別市職員採用試験

●第一次試験／筆記試験９月21日㈰。※一般事務職（社会人の部）では、一次試験として面接試験を８月23日㈯・24日㈰に実施。詳細は試験案内でご確認願います。●試験案内・申込書の配布／本庁舎２階職員課、市役所大麻出張所、水道庁舎１階営業センター窓口で７月３日㈭から配布するほか、市ホームページでも入手可。試験案内の郵送を希望する方は、職種および試験区分を明記の上、返信用封筒（120円切手を貼付し、自分の住所と氏名を記載した角形２号封筒）を同封して職員課（〒067-8674 高砂町６）へ郵送。●申込方法／７月22日㈫～８月４日㈪までに、申込書を職員課へ「簡易書留郵便」で郵送。※８月４日㈪の消印まで有効。●詳細／職員課☎381-1007 ▼募集職種や受験資格などは、下表のとおり。

第２回 職員採用試験ガイダンス

平成26年度第２回採用試験の概要説明のほか、市の概要や具体的な仕事内容なども紹介する予定。消防職希望者向けの「消防ガイダンス」も同時開催。事前申込不要。当日直接会場へ。服装自由。●開催日時／平成26年８月２日㈯。第一部：15時～16時30分。相談ブース：16時30分～16時50分。第二部：18時～19時30分。消防ガイダンス：17時～18時。●会場／えぽあホール（大麻中町26-7）☎387-3315 ●詳細／職員課☎381-1007

ご意見お待ちしています

パブリックコメント

① 江別市新型インフルエンザ等対策行動計画

新型インフルエンザなどの発生時に市民の生命と健康を保護し、市民生活と市民経済に及ぼす影響を最小限に抑えるため、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づいて「江別市新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定しますので、案について意見を募集します。●募集期間／７月９日㈬～８月８日㈮。●提出先・詳細／保健センター〒067-0004若草町６-１☎385-5252 FAX385-8130 Email=hoken@city.ebetsu.lg.jp

② 江別市いじめ防止基本方針

市内市立小中学校におけるいじめの防止などの対策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめ防止対策推進法に基づいて「江別市いじめ防止基本方針」を策定しますので、案について意見を募集します。●募集期間／７月11日㈮～８月11日㈪。●提出先・詳細／教育部学校教育支援室学校教育支援担当〒067-0074高砂町24-６☎381-1409 FAX382-3434 Email=gakkoukyoikusien@city.ebetsu.lg.jp

①・②共通事項

■意見の提出方法／住所・氏名を明記し、持参または郵送、ファクス、Eメールで送付。様式は任意。電話受付不可。■資料入手場所／担当課、市役所本庁舎１階情報公開コーナー、市役所大麻出張所、水道庁舎、情報図書館、市民会館、各公民館、鉄南地区証明交付窓口、豊幌地区センターで配布するほか、市ホームページにも掲載します。■その他／お寄せいただいた意見などは、個人を特定できる箇所を除き、市ホームページなどで公開する予定です。

職種	試験区分	申込資格
一般事務職	大学の部	４年制大学を卒業（見込み含む）し、昭和60年４月２日以降に生まれた方。
	社会人の部	高等学校を卒業（見込み含む）し、昭和50年４月２日～昭和60年４月１日までに生まれた方。
建築技術職	大学の部	次の要件をすべて満たす方。 ・４年制大学を卒業（見込み含む）し、昭和54年４月２日以降に生まれた方。 ・建築工学に関する知識を有する方。
土木技術職	大学の部	次の要件をすべて満たす方。 ・４年制大学を卒業（見込み含む）し、昭和54年４月２日以降に生まれた方。 ・土木工学または衛生工学に関する知識を有する方。
消防職	大学の部	４年制大学を卒業（見込み含む）し、平成元年４月２日以降に生まれた方。
	短大の部	短期大学、高等専門学校を卒業（見込み含む）し、平成３年４月２日以降に生まれた方（大学の部に該当する方は不可）。
	高校の部	高等学校を卒業（見込み含む）し、平成５年４月２日以降に生まれた方（大学・短大の部に該当する方は不可）。
栄養士	資格の部	昭和50年４月２日以降に生まれた、栄養士免許を有する方または平成27年３月末までに免許取得見込みの方。
一般事務職（身体に障がいのある方）	身体障がい者の部	・高等学校を卒業（見込み含む）し、昭和50年４月２日以降に生まれた方。 ・身体障害者手帳（１～６級）の交付を受けている方。 ・自力（家族などによる送迎を含む）により通勤し、かつ、介護者なしに職務の遂行が可能な方。 ・活字印刷文による出題、自筆による解答および口頭による面接試験に対応できる方。

※全職種共通の申し込み資格：**採用後、江別市内に居住が可能な方。**

江別市制施行60周年記念

第25回えべつやきもの市

7月12日(土)・13日(日)

問い合わせ先　やきもの市実行委員会事務局（ＮＰＯ法人やきもの21内☎391-2160）

北海道の一大イベント「えべつやきもの市」を、7月12日(土)10時～18時・13日(日)10時～17時に江別駅前で開催します。

道内の陶芸家や金属・ガラス作家、陶芸サークルなどのほか、「やきもの」にこだわった飲食店など350店以上が出店します。

また、恒例の「れんがドミノ」（2014個）のほか、参加・体験型イベントなども盛りだくさんです。

作り手と使い手の交流を楽しみながら、お気に入りの「やきもの」を見つけてみませんか。

今年で四半世紀

平成2年7月14日に第1回のやきもの市が開催され、今年でちょうど25年。

はじめは、イベントを通した街おこしの市民グループ「チャンネルE（小蕎邦敏委員長）」が江別特産れんがの誕生百年と陶芸の街のPRのために開催したもの。

会場はコミセンの多目的ホールと屋外イベントロードの2か所で、市内外の陶芸家27人の作品展示と即売などが行われました。

この時の来場者数は9千人。これでも当初の想定よ

イベントの内容と会場

12日(土)

- 10：00～17：30　❶スタンプラリー
- 13：00～17：00　❷ろくろ製作体験（石見陶器工業協同組合）／コミセン3階工芸室
- 13：00～　オープニングセレモニー／駅前三角公園
- 13：05～　れんがドミノ／駅前三角公園
- 13：30～16：30　❸あなたはどれを使いたい？「麺の似合う器コンテスト」人気投票／コミセン多目的ホール
- 13：30～16：00　❹映像による江別ガイド（協力：江別観光ボランティアガイド）／コミセン3階和室
- 14：00～　ドミノ使用れんが販売／駅前三角公園
- 14：00～15：00　❺江別駅周辺散策による名所案内（協力：観光ボランティア）／コミセン正面入口集合。
- 一日数回　❻石見焼製作実演（石見陶器工業協同組合）／コミセンふれあい広場
- 終日　❼江別小学校5・6年生の陶芸作品展示／コミセンふれあい広場

13日(日)

- 10：00～16：30　❶に同じ
- 10：00～16：00　❷に同じ
- 10：30～14：30　❸に同じ
- 13：30～16：00　❹に同じ
- 14：00～15：00　❺に同じ
- 15：30～16：30　あなたはどれを使いたい？「麺の似合う器コンテスト」結果発表・作品販売／コミセン多目的ホール
- 一日数回　❻に同じ
- 終日　❼に同じ

※都合により、内容が変更になる場合もあります。

25年を振り返って

初回からこのやきもの市にかかわってきた林実行委員長に、お話をお聞きしました。

やきもの市実行委員会委員長
林　敏昭さん
5条4丁目在住・現江別市商店街振興組合連合会理事長

最初のころは、この条丁目地域の方々や商店から、開催期間中の駐車場問題などについての協力を得ることが大変でしたね。

今では、このやきもの市が、地域の街おこしにもなっていることから、協力を得られやすくなりましたが、現在も代替駐車場対策は大きな課題であることは変わりません。

来場者もここ数年は6万人ほどとなり、全道的なイベントとして認知されてきています。また、道内の窯元にとっても一大イベントに位置付けられていて、毎年出店している人も多数います。

今後は、後継者を育てて、地域に密着したイベントとして続けていきたいですね。

第1回（平成2年）のやきもの市。ミニチュアストーブのやきものなども販売されていた。

お隣りのまちのイベント紹介します。

ATSUBETSU EBETSU
近隣市交流
KITAHIROSHIMA

第25回 厚別区民まつり

厚別区恒例の夏のおまつりです。生の太鼓に合わせた総勢300名で踊る「厚別音頭踊り」（1日目のみ）や歌やダンス、バンド演奏の「まつりステージ」、近隣3市（江別市、北広島市、厚別区）の郷土芸能ステージ（1日目のみ）、近隣市町村の特産物販売、飲食コーナーのほか、出店も多数あります。

日時　7月25日（金）12時～21時
　　26日（土）12時～21時
会場　**ふれあい広場あつべつ他**（札幌市厚別区厚別中央1条5丁目）

詳細　厚別区民まつり実行委員会（厚別区地域振興課内・☎895-2442）

第36回 北広島ふるさと祭り

YOSAKOIソーランエルフィンフェスティバルや仮装盆踊り大会などのほか、出店や各種ステージコンサートが行われます。

日時　8月2日（土）12時～21時
　　3日（日）9時～20時
会場　**ＪＲ北広島駅東口まつり広場**（北広島市中央6丁目）

詳細　北広島市祭り実行委員会（北広島市商業労働課内・☎372-3311）

やきもの市会場周辺図

※11日（金）～13日（日）は、中央バスの停留所が一部移動になります。

車両交通規制日時

- 11日（金）　9：00～13日（日）21：00（終日）
- 11日（金）15：00～13日（日）21：00（終日）
- 12日（土）　7：00～18：00・13日（日）9：00～17：00

シャトルバスをご利用ください

江別駅前のメーン会場周辺には駐車場がありません。会場へは、ＪＲ・バスなどの公共交通機関をご利用ください。自動車で来場の方は、市役所北側臨時駐車場（向ヶ丘26）に駐車し、無料シャトルバスをご利用ください。

また、この期間中、中央公民館の図書館分室をご利用の方も駐車場が利用できませんので、ご了承ください。

りも多く、途中で完売したところもあったとのこと。この盛況振りから、翌年からは道内の多くの窯元が参加するようになり、現在では330もの窯元が出店。来場者も6万人前後となりました。

今年は25年を記念して、島根県の石見（いわみ）焼の紹介として石見陶器工業協同組合から7名が来江し、大はんどう（大型の水かめ）など伝統的技法「しの作り」の制作過程の実演を行うほか、「麺の似合う器コンテスト」人気投票なども行われます。

やきもの市協賛事業

会場・詳細
セラミックアートセンター
☎385-1004

第9回クラフトマーケット

市内および近郊在住の工芸作家による、木工やガラスなど手工芸品の展示即売。

●**日時**／7月12日（土）、13日（日）の9時30分～16時30分
●**会場**／1階エントランスロビー

陶芸体験・絵付け体験

●**期日**／7月12日（土）、13日（日）
●**受付**／①10時～12時②13時30分～15時30分。予約不要、会場で受付。教室の定員により少々お待ちいただく場合あり。体験時間は陶芸で約1時間半、絵付けで1時間程度。作品は当センターで乾燥・釉掛（ゆうが）け・焼成（しょうせい）し、後日お渡し。
●**対象**／小学生以上（小学校3年生以下は保護者同伴）先着30名
●**受講料**／陶芸体験700円、絵付け体験800円（材料費含む）

メニューいろいろ

夏休み特集 今年は何にチャレンジ!?

昨年の千歳川の自然観察

※料金の記載の無いものは無料です。

待ちに待った夏休み！親子であるいは友達同士で楽しいプランを練っていると思います。
市でも、いろいろなイベントを用意しました。夏休みの思い出づくりや学習に、どれかに参加してみてはいかがですか？

アウトドア

弁天丸・ボートで学ぶ 石狩川と千歳川

調査船「弁天丸」に乗ったり、ボートをこいで、石狩川と千歳川の自然観察をします。身近な川の歴史や環境について楽しく学びます。小学4～6年生対象。

●日時／8月2日(土)9時30分～15時。※荒天の場合は8月7日(木)に延期。●会場／江別河川防災ステーション（大川通6）。
定員／先着36名。集合・解散／江別河川防災ステーション。申込・詳細／7月16日(水)～24日(木)の平日8時45分から17時15分までに環境課☎381-1019へ。

夏休み環境学校 ～水辺の自然塾～

早苗別川で、魚の観察や川流れを通して、身近な自然を体感します。講師は川に学ぶ体験学習指導員の妹尾（せお）優二さん。小学4～6年生対象。

●日時／7月26日(土)9時～15時。●会場／早苗別川(東野幌)。
集合・解散／市役所正面玄関前。定員／40名。申込・詳細／7月7日(月)～18日(金)の平日8時45分～17時15分に環境課☎381-1019へ。
※この事業は江別環境整備事業協同組合からの寄付金を活用。

第46回青少年キャンプ村「こんがり王国」

炊事、レクリエーションなどを通して友達の輪を広げ、夏休みの楽しい思い出をつくりませんか。市内の小学4年生～中学3年生対象。

●日時／8月4日(月)～9日(土)の間で1泊2日を5回実施。●会場／江別市森林キャンプ場（西野幌928）。
定員／1日25グループ。その他／少人数（1～4人の男女別のグループ）による申込も一定の条件により受け付けますので、お問い合わせください。申込・詳細／7月24日(木)までに5～8人の男女別のグループをつくり、参加費1人1000円を添えて生涯学習課青少年・スポーツ振興係☎381-1069へ。

夏休みプール開放

夏休み期間中、市内小学校のプールを開放します。市内小中学生およびその保護者対象。

●日程／7月25日(金)～8月12日(火)（日・水曜日は休み）。●開放校／野幌小・角山小・第三小を除く16小学校。
詳細／生涯学習課青少年・スポーツ振興係☎381-1061。

緑あふれる公園写生会

江別の公園の魅力を描いてみませんか。画板、画用紙は主催側で用意しますので、お好きな画材と敷物を持参の上、ご参加ください。
お預かりした絵は、後日学校を通してお返しいたします。優秀作品は市役所のロビーに展示し、記念品を贈呈。市内小学生対象。

●日時／7月26日(土)9時～※雨天時7月27日(日)。●会場／泉の沼公園（東光町31-1）。
定員／無し。先着50名に粗品進呈。参加方法／当日8時半に園内トイレ前に集合。協賛／サントリービバレッジサービス㈱。詳細／江別市都市公園指定管理者 草野作工株式会社☎398-3010。

ものづくり

こどもリサイクル教室 手すき和紙でミニうちわを作ろう！

グループ毎に牛乳パックを使った手すき和紙で、夏らしいオリジナルミニうちわ作りに挑戦してみませんか？
使用済みの牛乳パックや空き缶などの資源物は、集めてリサイクルすると別の製品に生まれ変わりますが、何に生まれ変わるのか、どのように回収しているのかなどを楽しみながら学びましょう。小学3～6年生対象。

●日時／7月31日(木)9時30分～11時30分。●会場／野幌公民館工芸室。
定員／先着20名。持ち物／はさみ、筆記用具。その他／必要な道具は用意します。申込・詳細／7月1日(火)～24日(木)の間に廃棄物対策課減量推進係（☎383-4211工栄町14-3）へ電話か直接申込。

夏休み特別少年少女発明教室 ものづくり体験

ガラスを使って、夏休みの自由研究を作ってみませんか。対象は小学3年生～中学3年生です（親子での参加も可）。

●日時／8月8日(金)14時～15

しのつ河畔林自然セミナー

8月2日(土)10時～13時
会場／しのつ河畔林（篠津256）。江別駅南口からの送迎バス有り。小学生と親対象で先着50名。申込・詳細／（公財）草野河畔林トラスト財団☎381-0550

時30分。●会場／コミュニティセンター。
定員／5名(先着)＋保護者。**申込・詳細**／7月25日㈮までに**料金**1人1000円を添えて直接、生涯学習課青少年・スポーツ振興係☎381-1069へ。

ミニチュアれんがで自由研究

れんがの10分の1サイズのミニチュアれんがを原料の土から作成し、作品を作ります。小学4～6年生対象。

●**日時**／**れんがづくり**＝7月29日㈫。**作品づくり**＝8月12日㈫**いずれも10時～12時。●会場**／**セラミックアートセンター。**
定員／15人。**その他**／2日間とも参加できる方に限ります。**料金**／500円。**申込・詳細**／7月23日㈬までに商工労働課☎381-1023へ。

夏の親子陶芸～サラダボウル作り～

作品はアートセンターで乾燥・焼成を行い、夏休み中にお渡しします。

飲料水・筆記用具。**申込・詳細**／7月12日㈯から電話または直接、郷土資料館(9時～17時)☎385-6466へ。

研究

夏休み歴史探検

夏休みに郷土資料館・飛鳥山公園・旧町村農場などを探検して「ふるさと江別」について学ぼう！

●**日時**／①**7月31日㈭**、②**8月8日㈮。いずれも9時～12時。**①②は同じ内容。申込はどちらか。●**会場**／**郷土資料館および周辺**(雨天時は館内のみで実施)。
定員／小学4～6年、各回先着20名。参加賞あり。**持物**／帽子・飲料水・筆記用具。**申込・詳細**／7月12日㈯から電話または直接、郷土資料館(9時～17時)☎385-6466へ。

ソーラー発電教室

八幡にある太陽光発電所の見学や、太陽光で動くソーラー工作キットを作成して、地球温暖化と太陽光発電のことを楽しく学びます。

●**日時**／**8月8日㈮12時30分～16時30分。●会場**／**江別ノーザンフロンティア発電所**(**環境クリーンセンター敷地内**)。
集合・解散／市役所正面玄関前。**定員**／小学4～6年生30名(先着)。**持ち物**／筆記用具。**申込・詳細**／7月17日㈭～30日㈬に環境課☎381-1019へ。

公民館

公民館関係の申し込みは、申込者1人につき1名ですが、兄弟の分は一緒に申込みできます。

●**日時**／**7月19日㈯、20日㈰の10時～12時。●会場**／**セラミックアートセンター。**
定員／両日とも親子(小学生以上)先着30名。**受講料**／1人700円。**申込・詳細**／7月5日㈯から電話(9時～17時)か直接セラミックアートセンター☎385-1004へ。

めざせパティシエ！スイーツ教室

クリーム入りのパフケーキとジュースを使ったグミを作ります。市内の小学生対象(1～3年生は保護者同伴)。講師はお菓子研究家の高柴博子さん。

●**日時**／**7月30日㈬9時30分～12時。●会場**／**中央公民館調理実習室。**
定員／先着18名。**申込**／7月9日㈬9時30分から**料金**500円を添えて直接中央公民館へ申込み。**詳細**／中央公民館☎382-2376。

ふしぎな動きをする宇宙生物？を作ろう！

ペットボトルを使って、動く宇宙生物？を作ります。江別市内の小学生対象(1～3年生は保護者同伴)。講師はJAXA日本宇宙少年団苫小牧分団副分団長の杉山光二(こうじ)さん。

●**日時**／**7月30日㈬13時～15時。●会場**／**中央公民館多目的ホール。**
定員／先着20名。**申込・詳細**／7月9日㈬9時30分から直接中央公民館☎382-2376へ。

親子フラワーアレンジ教室

夏の花を使ったフラワーアレンジを作ります。小学生とその保護者対象。講師は北海道生花商協同組合加盟店の皆さん。

●**日時**／**7月24日㈭13時～15時。●会場**／**野幌公民館。**
定員／先着30組。**申込**／江別市内の北海道生花商協同組合加盟店へ。**主催**／北海道生花商協同組合江別振興公社。**詳細**／花のすみれ屋☎383-1388。

夏の子ども陶芸教室

オリジナルの植木鉢を作ります。作品は焼成後にお渡しします。市内の小学生対象(1～3年生は保護者同伴)。講師は野幌公民館陶芸窯管理人の千葉幸子(さちこ)さん。

●**日時**／**8月2日㈯13時～15時。●会場**／**野幌公民館工芸室。**
定員／先着20名。**申込・詳細**／7月12日㈯9時30分から**料金**400円を添えて直接野幌公民館☎382-2414へ。

夏の子ども青空写生会

野幌公民館の敷地内で野外写生会を行います。市内の小学生対象(1～2年生は保護者同伴)。講師は彩(あや)の会講師の栗山　巽(たつみ)さん。

●**日時**／**8月8日㈮10時～12時。●会場**／**野幌公民館敷地内。**
定員／先着15名。**申込・詳細**／7月12日㈯9時30分から**料金**100円を添えて直接野幌公民館☎382-2414へ。

奏でてみよう！MY楽器作り

オリジナルの楽器を作って演奏を楽しみます。市内の小学生対象。講師は井筒和幸(いづつかずゆき)さん。

●**日時**／**8月7日㈭10時～12時。●会場**／**大麻公民館研修室3号。**
定員／先着20名。**申込・詳細**／7月12日㈯9時30分から**料金**500円を添えて直接大麻公民館☎387-3315へ。

楽しくとんとんくぎ打ち名人！

木板にくぎ打ちをしてシールなどで飾りつけ、ゲーム盤を作ります。市内の小学3～6年生対象。講師は大麻公民館職員。

●**日時**／**7月31日㈭10時～12時。●会場**／**大麻公民館工芸室。**
定員／先着20名。**申込・詳細**／7月12日㈯9時30分から**料金**400円を添えて直接大麻公民館☎387-3315へ。

えべつの夏祭り

7月19日㈯の大麻・文京台市民祭りを始まりに、江別の夏祭りが開催されます。ご家族お揃いで夏のひとときを過ごしてみてはいかがですか。

大麻・文京台

2014 市民夏まつり

7月19日㈯・20日㈰

大麻宮町グラウンド会場（大麻神社横）

●7月19日㈯14時～20時
フリーマーケット・開会式・学生ステージ・バンド演奏・市民ステージ。

●7月20日㈰12時～20時30分
市民ステージ・吹奏楽演奏・よさこいソーラン・和太鼓演奏・大抽選会。

●両日とも
ビアガーデン・焼き鳥・金魚すくい・ヨーヨー釣り・綿あめ・屋台、フワフワトランポリン。
※出店内容の変更もあり。

詳細 大麻・文京台まちづくり協議会（内海）☎386-5950

野幌

えべつ北海鳴子まつり

7月26日㈯・27日㈰

市民も参加できるよさこい踊りや、路上パフォーマンスチームなどが参加する楽しい企画がいっぱい。

●7月26日㈯（前夜祭）
8丁目通会場 16時～20時 進行型・停止型／**かわなか公園会場** 15時～20時30分 ステージ演舞・売店。

●7月27日㈰（本祭・後祭）
8丁目通会場 12時～20時30分 進行型・停止型／**かわなか公園会場** 12時～20時 ステージ演舞・売店。

なお、各会場周辺には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

詳細 えべつ北海鳴子まつり実行委員会事務局（やまほでんき内）☎383-6087

市民祭り in 野幌

7月26日㈯・27日㈰
8月14日㈭～16日㈯

7月26日㈯・27日㈰は、えべつ北海鳴子まつりと同時開催。

●7月26日㈯
8丁目通商店街会場（道銀～野幌病院） ／10時～15時30分 軒先ジャック・100円ショップ／11時～21時 のっぽろ美味の広場／12時～12時30分 開会式／12時30分 市民と消防の集い。

かわなか公園会場 16時～16時30分 野幌太々神楽。

●7月27日㈰
8丁目通商店街会場／11時～21時 のっぽろ美味の広場／16時～17時30分 ビールまつり。

●8月14日㈭～16日㈯
旭公園会場（野幌町44）／17時～21時 のっぽろ美味の広場／17時30分～19時 子ども盆踊り（※16日㈯は仮装大会。受付は16時30分～17時30分）／19時～21時 市民盆踊り（16日㈯は仮装大会。受付は17時30分～19時）。

●8月16日㈯
旭公園会場／12時～15時 聖徳太子まつり、子ども縁日。

詳細 江別市民まつり野幌地区実行委員会（㈱住まいの昭和内）☎384-0288

江別

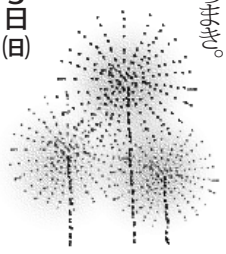
江別地区市民まつり

8月2日㈯・3日㈰

土佐大綱引き、江別市民踊り、仮装盆踊りなどが行われます。

コミュニティセンター付近会場（3条5丁目）

●8月2日㈯
16時～20時 縁日夜店市／16時～21時 味の散歩道／18時30分～19時15分 市民踊り（受付は17時30分～18時15分）／19時15分～20時15分 北海鳴子よさこい踊り／20時15分～21時 土佐大綱まつり／21時 縁起もちまき。



●8月3日㈰
13時～16時 納涼将棋大会／14時～15時 子ども映画会／16時～20時 縁日夜店市／16時～21時 味の散歩道／18時30分～19時10分 子ども盆踊り／19時20分～20時20分 仮装盆踊り（受付は18時30分～19時10分）／20時20分～20時40分 納涼花火大会／21時 縁起もちまき。

詳細 江別地区市民まつり実行委員会（林商店内）☎382-3271

江別の顔づくり事業

鉄西線の整備が進みました

―駅前の歩道が美しく歩きやすくなりました―

江別の顔づくり事業では、野幌駅周辺の整備を進めています。今回は野幌駅北口広場前を通る鉄西線についてご紹介します。

詳細 都心整備課☎381-1082

特徴

1　歩きやすい歩道

・歩行者通行帯は透水性平板ブロックの設置や、緩やかな傾斜とすることにより、滑りづらく、水たまりができにくい。

2　歩道が広くなりました

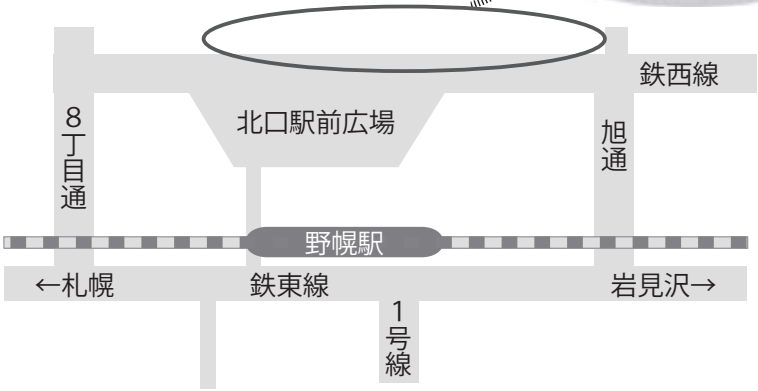
・歩行者通行帯は２人で並んで話しながら歩くことができ、ベビーカーや車いすの方も安全。

3　電線を地中化し災害や景観に配慮

・災害時に電柱が倒れる危険がなくなり、救援活動や緊急車両の通行が円滑に。情報通信回線の被害も軽減。
・電線がないすっきりとした街並み。

4　江別らしい景観

・歩道の一部にはれんがを使用し、江別らしい景観を創出。



平和を祈念する碑（モニュメント）に刻む言葉（テーマ）を募集します

今秋までに策定が予定される平和都市宣言を受け、その理念を未永く多くの市民の方と共有し、深く認識するため、市制施行60周年に合わせ、平和を祈念する象徴として碑を設置します。

そこで、この碑にふさわしい言葉を募集します。

【応募資格】江別市民。

【内容】平和を祈る気持ちを表す言葉で、平和都市宣言にふさわしいもの。５字以内。応募は１人１点。

【応募方法】①言葉（ふりがな）、②言葉の説明（50字以内）、③氏名・年齢、④郵便番号・住所・電話番号を記入の上、郵送(当日消印有効)、ファクス、Eメール、または持参。

※詳しい応募要領は、市役所１階福祉課および市情報公開コーナー、情報図書館、各公民館、豊幌地区センターで配布するほか、市ホームページでも入手できます。

【応募期限】７月22日㈫

応募・詳細 福祉課地域福祉係〒067-8674高砂町6☎381-1031 FAX381-1073 Email=fukushi@city.ebetsu.lg.jp

江別市平和都市宣言（案）

この世に生命（いのち）を与えられたすべての人々は、平和で安心した暮らしを願っています。

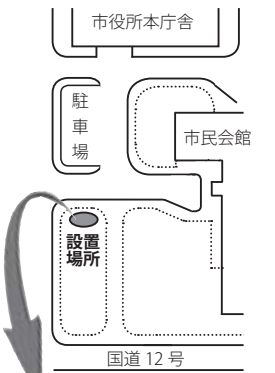
しかし、世界の各地では争いが絶えず、また、大量の核兵器が世界の平和と人類の生存に大きな脅威を与えています。

わたしたちは、世界唯一の被爆国として、広島・長崎の惨禍を繰り返さないように、核兵器廃絶を強く訴え、戦争のない平和な世界の実現を求めます。

そのために、世界中の国、地域、人々との交流の輪を広げ、互いの個性や違いを理解し尊重し合うことが必要です。

わたしたち江別市民は、豊かな自然と先人が築いた歴史や文化を引き継ぎ、平和な社会をつくるため、家庭や地域において一人ひとりが確かな意思を持って行動していくことを誓い、ここに江別市が「平和都市」であることを宣言します。

【碑の設置場所】



碑のイメージ図　正面（駐車場側から）